

# 第3学年 特別活動学習指導案

日 時 平成18年9月27日(木)  
対 象 3年2組(男子19名 女子16名 計35名)  
場 所 3年2組教室  
授業者 教諭 七戸 広徳

- 1 主題名 素敵なふれあい(性行為)
- 2 主題について

## (1) 主題について

性成熟に伴い、異性との交際に憧れや関心が芽生え、性的な感心や欲求を満たそうとする行動が見られるようになるのは自然なあらわれである。生徒の周りにはたくさんの性に関する情報があふれているが、それらの情報のほとんどは興味本位で、一面的なものである。自己の欲求について見つめたり、自覚したりする機会がないままに享乐的な性情報の影響を受けると、様々な悩みや問題を抱える要因になり、また、望まない妊娠等のいろいろなトラブルに巻き込まれる危険性もある。したがって、正しい男女関係のあり方や望ましい性に対する見方、考え方を学ばせることが必要と考え、そこで生徒の関心の中心ともいえる性行為をとりあげ、話し合い、考えさせることにより、性行為の様々な意味に気付かせ、そして、性行為は『関係』としての行為であることを理解させ、中学生としてとるべき行動や自分や異性の人生を大切に作る生き方を選択する意識をしっかりと持たせたい。

## (2) 生徒について

全体的には積極性に乏しい面はあるが、素直で落ち着きのある集団である。善悪の判断はあるものの控え目な生徒が多い。そのため強いリーダー性を持った生徒はいないが、クラスとしてまとまりたいという意識は強く、自分達のクラスに誇りを持ちたがっている生徒も多い。男子よりも女子の方が学力が高く、学年でも上位である。規範意識も高い。男子も落ち着きはあるものの、強い信念を持って行動しようとする面が弱い。男女の仲は悪くはなく、相手のことを考えて行動することができるが、その行動が遠慮ということにつながっているときもある。

当然のことながら大半の生徒が異性に対して興味を持っている。特定の異性と交際している生徒も何人かはいるが、目に余るような行動は見られない。控え目な生徒が多く、男女交際には少し疎い面はあるが、異性に対して大変興味関心があるのでいつ男女交際が行われても不思議ではない。交際の延長で性行為(性交)に及ぶ可能性も十分にある。いずれにせよ、周りの情報に流されて自分自身を見失ったり、誤った交際に発展しないよう、そして自分の生き方を見つめ、自分の人生を大切に作る生き方の選択を意識させる良い機会としたい。

## (3) 指導について

中学時代は二次性徴の充実の時期であり、それに伴って性行為について関心を持つのは当然のことである。しかし、周りには性情報があふれており、性行為だけが一人歩きし、正しい知識を得ることができず、性行為に伴う人間関係やそれのもたらす結果について、安易に考え不十分で誤った知識にさらされている。そのためトラブルに巻き込まれ、人生に大きな傷を残したり、生きる意欲を失うほどの悲しみにさらされるときがある。したがって、性行為の意義をしっかりと理解させ、性行為は相手の人生、からだ、心、命、願い、喜びに関わっていく『関係』としての行為であることをわからせたい。そして、しっかりとした考え方や行動がとれないうちは、まだ性行為(主に性交)に近づく資格はない。あわてないで、相手の人生や自分の人生について考えられる人間に自分を成長させながら性に近づいていくことの大事さを理解させたい。

## 3 指導計画

### (1) 事前の指導

人工中絶について・・・(学級活動)  
アンケート調査の実施・・・(短学活)

### (2) 「素敵なふれあい(性行為)」(本時)

### (3) 事後の指導 中学生における正しい生き方指導(進路実現に向けて)・・・(学級活動)

4 特別活動と他の領域の関係

理科の「生物」においては自己の性の認識のうちの生命（生命誕生のしくみや命の連続性等）について学習し、保健体育では自己の性の認識のうちの身体的側面（二次性徴等の性的な発達）と精神的側面（中学生期の精神発達の特徴と自己形成等）について学習している。家庭科では家族や社会との関係について学習し、社会科の「公民的分野」では、男女平等をふまえて男女の理解及び、家族や社会との関係について学習をしている。これらの各教科等で性教育の基本になる知識を学習し、特別活動においては、教科の授業で学んだ知識と道徳で培った心情を統合、深化させることにより、中学校生活を充実させ正しい生き方の選択と進路実現に向けた意識の向上を図りたい。

5 研究主題との関わり

生徒をとりまく社会環境や家庭環境が大きく変化し、性に関する情報に容易に接する環境にある。その性情報は、からだ中心の享乐的なものが多く、いろいろなトラブルに発展する危険性が非常に高い。

本校の生徒も例外ではなく、性に対する自己決定があいまいで、流されやすい面を持っている。また、男女関係のあり方について悩みを持っている生徒もあり、互いに思いやり、感情を相互にやりとりできる人間関係を築くことが男女関係の基本であることに気付いていない。男女交際の延長から性行為に発展することも十分に考えられる。周りに氾濫している性情報の影響により安易に考え、性行為におよぶことにより、とりかえしのつかないくらいの深い傷を負ってしまう危険性も十分にあり、まだ中学生のうちは将来に対する考えの確立や正しい生き方の選択の面では不十分な時期であり、他教科で獲得した知識をベースにして本時の授業を展開することにより、性行為の意義を理解させ、性行為は相手の人生、からだ、心、命、願い、喜びに関わっていく『関係』としての行為であることをわからせたい。そして、しっかりとした考え方や行動がとれないうちは、まだ性行為に近づく資格はなく、あわてないで、相手の人生や自分の人生について考えられる人間に自分を成長させながら性に近づいていくことの大切さを理解させることにより、研究主題にせまりたい。

6 本時について

(1) 本時の目標

性行為は相手の人生、からだ、心、命、喜び、悲しみ等に関わる『関係』としての行為であることがわかる。(知識・理解)

相手の人生や自分の人生について考え、自分を成長させながら性に近づこうとする判断力を身に付ける。(思考・判断)

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

観 点 \ 評 価	A「十分に満足できる」	B「おおむね満足できる」	C「努力を要する」 :生徒への支援
性行為は相手の生き方や感情に深く関わる『関係』としての行為であることが理解できたか。	性行為は相手の人生、からだ、心、命や感情に深く関わる『関係』としての行為であることが理解できる。	性行為は相手の生き方や感情に関わる『関係』としての行為であることが理解できる。	:前時の人工中絶のことを思い出させながら理解を促す。
自分を成長させながら性に近づこうとする判断力を身に付けることができたか。	今は進路実現に向けて学校生活や学習が大切であり、自分を成長させながら性に近づこうとする判断力を身に付けることができる。	自分を成長させながら性に近づこうとする判断力を身に付けることができる。	:性行為には大きな責任が伴うことを資料を振り返らせながら助言し理解を促す。

( 3 ) 本時の展開

段階	学 習 内 容	学 習 活 動	指導上の留意点 評価
導 入 5分	1 , 自分達の性 行為について の意識の実態 把握をする。  2 , 本時の学習 課題を把握す る。	・事前アンケートの結果から性行為に関する 自分達の意識の実態を把握する。 ・「責任が持てれば性交してもよい」につ いての『責任』について考える。  ・本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">中学生がとれる責任について考えよう</div>	男女別の班 アンケート結果は紙板書 「性交してもよい」理由 に目を向けさせる。 男子、女子両方の意見を 発表させる。  学習課題は紙板書で提示 し補足説明をする。
展 開 40分	3 , 学習課題を 追求する。  ・性行為は相手 の人生に大きく 関わる『関係』 としての行為で あることを学ぶ。  ・自分を成長さ せながら性に近 づくことの大切 さを学ぶ。  ・進路実現に向 けた正しい生き 方の選択と学校 生活のあり方を 確認する。	・資料を読み、内容を理解する。 ・資料の男性と女性の行動について感想等を 個人用シートに記入する。  ・何人かの生徒の発表を聞く。  ・お互いの考えの共通点、相違点に気づく。 ・性行為は相手の生き方、からだ、心、喜び、 悲しみ等に大きく関わる行為であることを 理解する。 ・資料の男性・女性の考え方や行動で欠けて いる点について考え、個人用シートにまと める。 ・班隊形になり、資料の男性・女性の考え方 や行動で欠けている点についての考えを出 し合い、班用シートにまとめる。 ・班用シートにまとめたものを黒板に貼り、 代表者が発表する。 ・班ごとに出された意見のまとめをする。 ・責任がとれない、性に対する考えが確立し ていない中学生の時期の性行為はまだ早い ことについて理解する。 ・もう一度事前アンケートについて振り返る ・シートに記入し性交についてのまとめをす る。(自己評価を行う)	範読テープを流す。 個人で考えさせ個人用シー トに記入させる。 机間指導の際、書けないで いる生徒には助言する。 既習事項の中絶の苦しみ や惨さを思い出させなが ら、特に女性が被害者にな ることが断然多いことをわか らせる。 評価【観察】 資料の男性の相手に対す る配慮、資料の女性の考え 方で欠けている部分に着目 させて考えさせる。 班隊形になる。 男子、女子お互いの考えの 共通点、相違点等に気付 かせる。特に、共通点を大 事にさせる。  責任がとれない、人生につ いて明確な見通しや考えを 持っていない中学生での性 行為はまだ早いことをしっ かり気付かせる。  評価【観察】 性行為に対する意識の変 化を図らせる。 評価【シート・観察】
終 末 5分	4 , まとめをす る。 5 , 次時の確認	・教諭の話を聞く。  ・次時の学習について確認する。	